

「第3回『私とみんてつ』小学生新聞コンクール」

加盟会社 72 社の駅で最優秀作品ポスターを掲出!

—平成22年2月1日(月)から掲出開始—

(社)日本民営鉄道協会(東京都千代田区・会長 上條清文)では、「第3回『私とみんてつ』小学生新聞コンクール」において最優秀作品賞(日本民営鉄道協会会長賞)を受賞した作品『くらしと鉄道新聞 すべての人にやさしい“ユニバーサル・ステーション” (岐阜県各務原市立八木山小学校5年 石原 蔵人)』をポスター化し、当協会加盟会社72社の駅にて掲出します。

1. 掲出期間
平成22年2月1日(月)
～3月31日(水)
(期間中の各社掲出可能な期間)
2. 掲出枚数
駅貼り 約3,200枚

「私とみんてつ」
小学生新聞コンクールとは

新聞作成を通じて、子どもたちに鉄道や民鉄に対する関心と理解を深めてもらうことを目的に開催しています。

第3回コンクールは、小学生全学年を対象として、昨年7月1日から9月30日まで募集し、全国331校から3,040作品(3,156人)もの応募をいただきました。

厳正な審査の結果、学校賞・個人賞を決定し、1月9日に東京會館・東商スカイルーム(東京都千代田区)にて表彰式を行いました。

本日、この資料は下記の記者クラブ等にお届けしています。

- 国土交通記者会 ○ときわクラブ ○東海交通研究会 ○青灯クラブ ○近畿電鉄記者クラブ ○ウィジャー記者クラブ

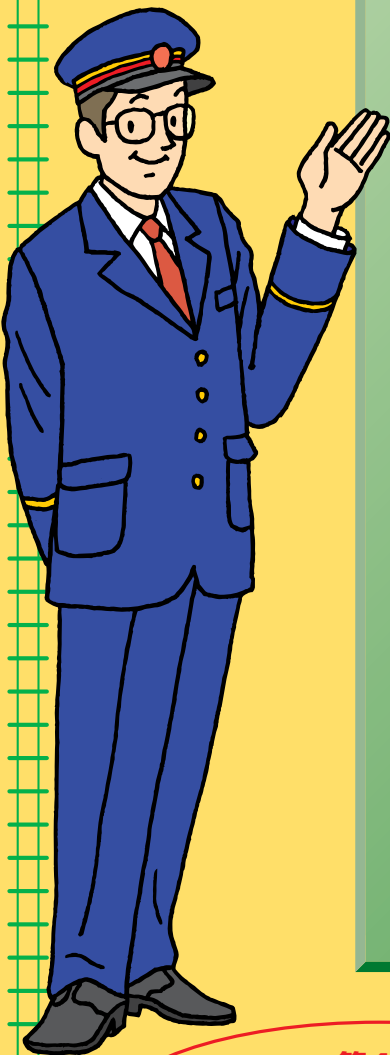
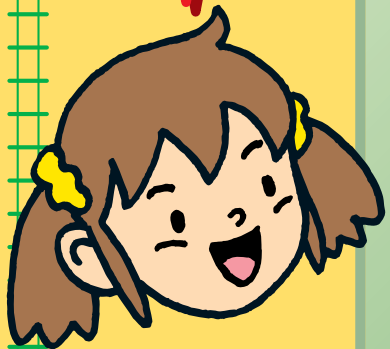
夢を運ぶ、未来へ走る

私たちは、子供たちの大きな未来を応援しています。

第3回 「私とみんな」

小学生 新聞コンクール

入賞作品が
決まりました！
おめでとう



くらしと鉄道新聞

新うぬま駅の歴史について
新うぬま駅は、大正十五年十月十日、犬山橋の開通により誕生しました。平成十七年の空港線開業時には、駅のプラットホームが増えたり、エレベーターを作ったりしました。さらに今年の三月、駅前ロータリーが新しくなり、みんなが利用しやすい便利な駅になりました。

ぼくの町の「新うぬま駅」
名鉄新うぬま駅の西口です。中山道の宿場町うぬま宿を意欲した白と黒の格子のデザインになっています。

体験してきました
車いすのせん用ゆう車場がありました。スロープや、雨をよけるひさしがありました。車いすの人が利用しやすいゆう車場でした。

駅ちゆう車場の工夫
自動券売機の工夫
駅の工夫
電車に乗る時
ぼくは、まだエレベーターが改札内にはないので、せん用の通路を通って行きました。駅員さんが親切におして連れていってくれました。また、乗った馬の駅員さんがおられる駅の駅員さんに電話で連絡して電車の中までかえに来てくれました。

7700系には、車いすが置けるほどのスペースがありました。また、そのスペースには、車いすでもにぎれる低い手すりが付いていました。

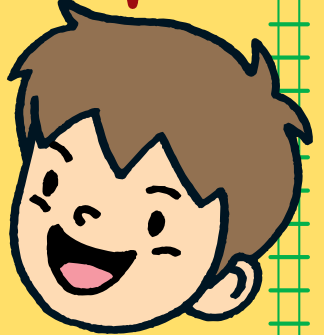
犬山駅は、まだエレベーターが改札内にはないので、せん用の通路を通って行きました。駅員さんが親切におして連れていってくれました。また、乗った馬の駅員さんがおられる駅の駅員さんに電話で連絡して電車の中までかえに来てくれました。

今後の鉄道に期待すること
①のほりおりのある駅には、エレベーターを設置してほしい。
②車いすスペースがない車両には、広い車内スペースを設けてほしい。
③車をいすの車内スペースを確保してほしい。
④電車の出入り口にフラッシュアップの機能をつけてほしい。
⑤車いすの乗降時に、車いすの落下防止にも役立つ。

感想
ぼくは祖父がいます。祖父は高齢のため、あまり上手に歩けません。車いすを使うこともありますが、そんな気持ちになるのだから、車いすに乗ってみたい。でも、車いすに乗ると、この体を終えて、歩けなくなると、実際に体験したことがありません。だから、車いすに乗りたい。でも、車いすに乗ると、この体を終えて、歩けなくなると、実際に体験したことがありません。だから、車いすに乗りたい。

最優秀作品賞
(日本民営鉄道協会会長賞)
石原 蔵人さん
(岐阜県・5年生)

くらしや環境を
考えることって、
大切だね！



第4回
「私とみんな」小学生新聞コンクール
平成22年7月募集開始予定!

ほかの受賞作品も、ホームページの「みんなとキッズ」で紹介しています。
ユニークで楽しい作品がいろいろ。ぜひ、ご覧ください。

<http://kids.mintetsu.or.jp/> みんなとキッズ 検索